京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久神一郎

發行所 京城新報社 京城西署西小門通（電話六六三）

京城一瞥（二） 赤毛布生

▼市區改正の急務▲

市區改正の必要が識者間に唱道せらるゝようになつて來たのは時運の然らしむる所である、元來此問題は夙くより起らねばならぬ筈のものじや、現在の如く亂雜不整頓の市街區域は都府の面目を汚損すること甚し大なりと云はねばならぬ、蓼々敷い樣だが日本人の集團區域が特に甚だしいからね……イヤ困つたものじやない、併し日本人の大部分が住居してをる今の區域も日清日露の二大戰役を經て彼位になつたので之に附隨しては種々悲慘な歴史も有つてをる、急進的でない漸進的に現在の市街が形造つたのである、彼一擧にして贏け得た新領土に理想的な新市街を建設して其美を誇つてをるものとはチト經路を異にしてをるからナア……そこで從來は意の儘に行ふことの出來ない事情もあつたろうが、モウ今日朝鮮總督府といふものを上に戴いてをるからは、居留民の奮發次第では如何な大事業を企てやらが意の儘じや、勢に日鮮人合同共力の下に京城市てふ一大自治制を布かれる事であろうが其は第二の問題にして、今の場合は日本人が朝鮮人を指導し總て文明に進ましめる羅針盤を握つてやるの責任がある、故に市區改正の如き大事業も自然我居留民團の方から鼓吹し且その必要を絶叫してかゝらねばならぬ、ナ—ニ居留民會で市區改正建議案が可決通過になつたさか、尚更結構の事なり、適に新選出の民會議員諸君が奉選に明らかに京城將來の爲に努力せんとする頭腦を有してをることを賞讃せねばならぬ、之で以て京城前途百年の長計が既に〳〵成就したのである、斯くして向ふ所を定め時機の乘ずべきを捉へねばならぬ、これが出來上りて市民萬歳を三唱する盛し遠くはあるまい……今よりして前號に三種の歪を揭ぐべしだ……國民の殖民策大成功と言はねばならぬと、赤毛布生も只管悦に入つてマア一吹と紙卷烟草を燻らしつゝあると、新參者の癖に京城の先覺者我のみと云んばかりに理屈を並べるとは怠々敷と思つたか……徐ろに口を開き

赤毛布何かわらんと我に向つて一矢酬ゆべく質問せり、曰く君の如く矢鱈に隨喜渇仰してをつても困る、僕の如き消極的論者は君が抽象的に饒舌るのを聞いては余りに君が大言壯語をするのみとしか受取れぬ、市區改正の擧や素より僕等に於て異論なし、建築家亦突飛ならず、然れども事を成さんとするに先づ其成すに必要なる費途の源を研究することが先決問題であらうと僕は思惟す、君は之に付て豫め慮る所ありや如何、左なくば君の謂ふ所、是れ空理空論のみ砂上樓閣を築かんとするに同じ、君乞ふ僕の心を安んずる点迄辯解せよとジリ〳〵膝を我に向けたり、赤毛布に包まれたりと雖ども、我焉んぞ彼の爲に屈せん彼の憂ふる所我亦憂へり、今に見ろ彼を屈せしめん否彼を海へんとグッと一杯温湯に咽喉を濕ぬ

●遠洋鯖漁の計畫

山口縣豊浦郡豊北村特牛浦漁民は僅に近海漁業に從事する者多く遠洋出漁者は極めて少數なりしが近來近海はトロール船の爲め漁場を蹂躙され到底從前の如くにては將來當業者の困苦大なるを慨し同村長岡豐次郎、堀本熊吉、長尾長吉等發起にて大仕掛の鯖巾着網使用を目論見人員五十八人資本金高二千五百圓一株を五十圓として株式組織とし朝鮮海へ出漁する計劃にて同縣廳よりも技師を派し相當獎勵金を交附する事に決したるより本月上旬其準備に着手すべしと

●滿洲の電燈業

滿洲の電燈事業は日本側に於て官營の旅順あり滿鐵經營の大連、奉天、長春、千金寨、安東縣等私設會社經營の營口等あり支那側經營の分は既設の奉天未設の吉林、哈爾賓も別に日清合辦を以て經營せんとする綏芬等あり而して現在の點燈數は大連三萬二百燈、旅順約七千燈、奉天約四千燈、奉天（支那側）約六千燈、營口約五千燈、千金寨約四千燈、長春五千二三百燈、安東縣三千燈にして大連の需要力は益々盛んにして其增加の勢ひ殆んど底止する所を知らず安東縣は滿鐵の引受前にありては一千二百燈に過ぎざりしが從來十六燭一燈二圓十錢なりしを引下げ一圓三十錢を爲したる結果僅かに八百燈を增加し將來の需要見込六百燈あり鐵嶺の日淸合辦電氣事業は四月中に器械到着据付を終りて愈々點燈を見るは來る八月頃なるべし吉林の計劃は其後形勢頗る不振にて器械据付を見るまでには尚多少の時日を要すべし哈爾賓も亦然り更らに滿洲にて遼陽公主嶺其他にも設置の計畫あるも尚未確定なりと

外事一束

▲黨亂 英國統一黨は其黨內三派に分裂し屢々劃策を變じ常に優柔不斷の態度を持しつゝあり爲めに敵なる自由黨の嘲笑を受け居れり我國民黨と彷彿、

▲軍備 米國は布哇を以て太平洋方面の海軍策源地としての設備中なるが更に本年二月より同島守備陸軍を加州軍團より引放し獨立とし增兵の計畫中。

▲內亂 墨西哥に於ける革命軍は漸次其勢力を增し今や將に第八回の革命暴動起らんとしオジカオボラドにては官軍革命軍大會戰の準備既に成れりと。

▲募債 匈牙利國ブダエスト市に於ては今回市の發展費として今回佛國巴里にたいて一億法の市債募集の件を商議中にて多分好果を收むならんと云ふ。

▲派醫 露國衞生慰問委員一行は英佛委員と共に露都出發哈爾賓に向ひたり一行はドルモルコフ內親王以下女醫二名女醫學生三名とより成るものなり。

▲防疫 天津日本租界防疫費豫算三萬四千弗此中本年度六千弗は剩餘金にて支辨し本年度支出金中二千二百十五弗は臨時賦課金其餘は借入金にて支辨。

▲抗議 猶太人の有力者が露國に抗議したる米國出生の猶太人迄も入國を許さゞるは甚だ不當なりとの件は遂に問題となり米國の議會にて討議せらる。

雜錄

●閑窓放言 在京城 西岡山人投

◎見渡し來れば、世間頗ぶる友人ぢ多し酒食の友、物見遊山旅行の友あり、同窓の友あり、同僚或は何々の友、斂へ來れば枚擧に遑あらずと雖ども一朝自己の利害の爲めには親しき友を賣り、友を捨て、甚だしきは、百方其友を陷穽して顧みずである◎世上稍々人情の薄きこと紙の如く、友道の衰へたる今日より甚だしきはないので、山人は情意投合したる已の志を知れる真知已を親友とし互に相砥礪して誠意を以て交りたいものである◎昨日の親友も今日の仇敵では餘まり面白からざる事である、親友の交りは葡萄酒の如く歲を經ると共に倍々情味の濃かなることを望みたいのである。

文苑

●或る男の歌 碌々庵

剎那の情を自が身に、定まつた聲で歌ふ小鳥よ。森の奥なる白楊の枝から幹から、そッと萌え出た若芽が、盡きぬ思の旋律を、聞いたとて、聞かぬとてやるせない氣の思出の譜の旋律が、上手じやとて下手じやとて、自が心の鍵盤に、シンーと響けばよいではないかいな。

俺がこんな乳臭い、人眞似らしい馬鹿らしい、ものを作るも其の思い。森の奥なる小鳥等よ、若草萌ゆる彌緑なる春は來た、共に囀ではないかいな。

よし齷齪と飛んだとて、南冥までも行ける身ではなし。

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌（千五百八十三號） 社說例により經濟界の近事を捉へ適確なる論議をなし論說には小林博士の「地方稅整理論」あり平澤又一氏の「朝鮮棉花栽培」は參考として一讀を要す（一冊十二錢東京京橋區彌左衛門町經濟雜誌社）

▲繪葉書世界（第二年第一號） 繪葉書趣味の鼓吹に努めんとするもの記事の優雅と挿畫の美なるは本誌の特色（東京市神田區柳原川岸永井三昇堂一冊十二錢）

▲書畫骨董雜誌（第三十三號） 從來の體裁を一變して四六二倍型の冊子として內容亦精選せられ斯界雜誌中の白眉たるに恥ぢず 一部五錢東京市湯島三組町書畫骨董雜誌社）

召使れ初 黑法師

（二十二）

佐十郎は何事かを照するが如く熱心に頼み聞ねぬ、傳內は考ねて「左樣ぢやのう、二十年來音信は絕ねてござるが、伯母とはきに相違もなく、この甥とあ[illegible]異しもない、名乘りかけて對面を願ひ出れば、よも木で鼻括る挨拶も致すまいと存ずる」

「濱田公奧向へ傳宜あると、面白い仕事さと出來、骨折つてたもらぬかの」

「面白い仕事とは滿」と三五郎は目を光らす。

「天機は漏らすべからず、調ふた上でれ話する」と、佐十郎は顋を撫でつゝ

「どうぢや、爲りませうか」

「さりとてての風体、濱田公れ屋敷へ押して參る事も成らぬ」と傳內は考ねながら「機會を待たせられ」

「便々と長うも待たれぬ、何か好い分別はあるまいかな」と、佐十郎は手を

まいか、でなうては折角のれ願み、力ら入れやうもござるぢやが滿」

「そこもある」と佐十郎に點頭き、「澤野殿れ力に由つて、我等仕官の望み遂げたいと存ずるぢやよ」

「はゝ」と傳內は嘲る如く「た見かけにも由らぬ、貴殿五斗米に腰をれ屈しか」

「と申すでない、これは手段ぢや、澤野殿れ手引に由て、濱田公れ側近う仕官の望み協へば、その上で思案の付け處いくらもござる、れ身達御存じあるまいか、濱田公御心中……」と云ひ掛て膝を進めて「何か深いれ目論見もあ

爲させられ、下世話にもいふ、細工は流々仕上げを見いぢや、成就の上れ身達手を叩かする事もあらうわさ」と佐十郎は獨り飲み込み「佐倉姓、れ引き受けでござるかな」

「さは迄まで御執心であることか、伯母に逢ふも貴殿れ紹介申さう」と傳內は初めて頷いて「然し時節をた待ち下さらねば爲りませぬナ」

「其儀は承知、拙者東軍流の兵法を善く致す、それを云ひ立て、御推擧を下さるぢや」と佐十郎は得意なりき

「諾し、さらばこれはその分に今一獻仕らう」傳內は又盃を擧たりき

又みぬ此長き談合に酒も冷へて、椽外の手水鉢へ鶯親しげに飛び來る「れ年寄衆頭とあるから、折には御代參もれはす筈、濱田公御菩提所は何れぢやの」

「西の久保大德寺ござる」

「さらば大德寺あたりに張番、それと見ばすぐ押し掛け、寺中に於て對面を願はするやう……」と佐十郎は指圖する如く「佐倉姓、ぞうでござるの」

「拙者も伯母懷しう存じ居る折から、大德寺前に張番、代參の時を待つとも致さう、然しその許思し召し立たせの事、何やう主意が、節どれ物語下さる

やうぢや」

「や」と傳內は詞重く「眞實の大きい聲では申されぬ、濱田殿は本姓松井六條判官爲義殿末ぢや」

「其事は承り居る」と三五郎も乘り出して「それが什麼とござるの、御先祖は何うあらうと、只今は將軍家御家人、殊に東照神君御協つて御譜の一字をも玉はらせ、代々忠義の名かくれなき家柄、さる恐しい思し召し立ちあらう筈はない、と や何かれ聞き運びではござらぬか」

「何はともあれはせ、拙者ちと聞き及んだことあるで、まづ深野殿に目通りを

陸軍大演習密令

東京電報（二日）

參謀總長は畿に御允裁を經て秩第十二師團長に對し來る秋季行はるべき特別大演習に關する計畫を陸軍大臣及教育總監部に移し同演習一般方略演習部隊集合地及其日限演習師團編成員其他の諸規程を第六第十二の各師團長に密令したり

政友會の硬派

南北朝正閏問題に關する政友會硬派戸水、久保、中村、山本、橋本、奥田、羅國の各派氏を初め同志議員四十名は紅葉館に會合し満場一致を以て速に當局者の責任を明にせしむる事並に常局者をして教科書を改訂せしむる事の二件を決議し尚文部大臣に引責せしむる事及編纂會全部を解散して新たに改造する事とし其實行委員として八名を選定したり

制令權不承諾

政友會は昨日政務調査會及特別委員聯合會を開き勅令第三百二十四號朝鮮に施行すべき法令に關する件は不承諾に決し別に法律案を提出することに決し其決定を經て總務に一任し同時に本件は三勅令に關する件と共に一應桂首相の同意を得て其他の勅令と共に承諾を與ふる事に決した

新條約發表期

日米電報

日米新條約は昨日樞密院會議に於て桂首相小村外相より説明報告あり三日

獨大使歸國期

東京電報

獨國駐劄の大使は來る十一日東京出發歸國すと

學位授與式

文部省にては一日午前十時より岡山縣士族山口弘夫、山形縣平民須藤憲三、新潟縣平民佐野彪太、沖繩縣平民比嘉賀秀の四名に醫學博士學位授與式を行へり

東肥鐵道の認可

永森藤吉郎外二十七名の發起にかゝる東肥鐵道株式會社は熊本縣下益城郡莵並に鹿本郡三十七哩資本金二百萬圓の輕便鐵道の設立を許可せられたり

藤澤氏發狂と選擧民

前大阪府選出の代議士藤澤元造氏が南北朝正閏問題に關し議會に於ける例の告別演説以來精神に異狀を呈し發狂者となりしは之を現政府が陰險の手段を弄して成したるものなりと上げ或は強制して之に至らしめたるものなりとて同選擧區は非常に憤慨し居れりと

新內閣組織難

伯林電報（二日）

佛國外相とシヨンは新內閣に入る事を拒絶したり然れども內閣總長ブリアンはこれを默許せざるべし

獨國の歡迎準備

フォンデル ゴルツ元帥を名譽會長に戴ける名譽委員會は本年六月土耳古國會議員軍人實業家、官吏及學者より成れる獨逸國訪問團体歡迎準備の爲め伯林に會合したり

雜報

半島貿易の趨勢

鈴木司税局長談

米輸出税に就て

朝鮮より輸出する穀物の關税は總額約六十萬圓の收入なるが其內貿易業者の最も苦痛として常に廢止を絶叫しつゝあるは精米是なり今茲に昨年中の輸出統計を示めせば總價額二千萬圓なり之に從價税五分を課せば百二十二萬五千圓となる而して單に內地に對する移出のみ廢止せよと言はゞ或は約六十萬圓の減收となる此從價税の宣言に撞着する虞れあるべけんも內外一般に均しく之を撤廢するものならば必ずしも至難事に非ざるべき乎思ふに朝鮮現在の財政にては幾干くの減收にても勿論財源を感ぜざるを得ず然れども斯かる問題の可否は元來當局者として予の口より之を語るを憚る則ち之に關する意見なきにしも非ずと雖も事は多く東京に於て決せらるべきもの問題なれば此の問題に屬するを以て大藏省當局者に於て如何に取扱ふ此の大藏省當局の如き自由に公言する能はざるを遺憾とす

現行評價率

關税の標準價格は各税關に於て之を定め各々其評價を異にするが現行の定率價格は即ち

種別	仁川	釜山	鎭南浦
精白米 上	五、〇〇〇		四、七五〇
精白米 下	四、九〇〇		

而して以上は最近決定せしものなるが時々其勢に參酌して變更し居れり故に之を以て永久一定と見做すべからざるなり

貿易品の將來

半島に於ける輸出貿易上の大宗は言ふまでもなく米豆牛皮生牛の類なるが更に其將來の最も有望なるべく注視せられつゝあるものを擧ぐれば棉花作蠶 蠶繭又は鑛物果實の類な

本年の半島貿易

最近是等の貿易品は近來漸く頭角を擡げたるが産業政策の進展と共に其進歩倍々著しきものあるに到らん

朝鮮人間の經濟は頗る好調にして實に稀有の活氣を示めし居れり思ふに斯かる好現象を呈せし其原因は昨年中に於ける農産物騰貴の爲め地方民の囊裡を肥やしたる結果に因らずんば非ず翻つて之を貿易方面に顧み二月十五日締切一月以降の輸出統計を示めさんに之を昨年の同期に比すれば輸出に於て百十二萬圓輸入一百二十五萬圓の増加を爲せり如上朝鮮人の經濟的發展は延いて貿易上に於て還額の大活躍を見るに至れるものにして亦以て本年貿易趨勢を看取し得べし

併合後の外國人

併合の結果在留外國人の影響如何を見るに事ろ好影響あるも毫も惡影響なきを確信す則ち政治的惡影響の如きは斷じて之なく却て經濟方面の一大活躍に伴ひ吾が內地人と共に其利益に均霑し居るは疑ふべからざる事實なり偶々一二の惡影響を被れるものあるべけんも幷は內地人の發展に壓迫せられ多少窮地に陷れるものにして要するに經濟上自然の結果に外ならず云々

朝鮮問題と議會

朝鮮森林會計法案及恩給加算に關する法律案貴族院本會議及衆議院委員會に於ける經過に關し兒玉會計局長より山縣政務總監に達したる公電左の如し
今一日貴族院に於て朝鮮森林會計法は原案の通り可決確定せり衆議院に於て恩給加算に關する法律案委員會を開き小官出席質問に答へ決議のみを次會に讓り審査終了せり

株主制限廢止

朝鮮商業銀行及漢湖其他の農工銀行が度支部の訓令に基き從來其株主を朝鮮人のみに限り居りたるは事實なるが今や時世一變諸記各銀行は設立の當時と事情を異にし其取引先の如きも鮮人に少なくして內地人に多く且つ度支部に於ても國籍云々を枳にして發布したる古き訓令を其儘に活かし置くの不利益不條理なるを悟りたるを以て近々新訓令を發して株主制限の舊訓令を取消すべしと云ふ因に現在朝鮮商業及農工等の銀行株式にして內地人の手に渡り居る者其數勘からざるが右は何れも便宜上朝鮮人の名義になし居れりと云ふ

地名統一の訓令

朝鮮に於ける地名の不統一は何人も認めて不便とする處にして之か爲め非常

普通教育の普及

朝鮮人の教育方針に就ては寺內總督の最も重要視せる問題なる由なるが元來朝鮮人は教育觀念の比較的旺盛なるに拘はらず其就學兒童の如き極めて少數にして內地人に在ては通例一戸一名の割合なるに朝鮮の現狀は僅かに十五戸に一名位なり斯かる現象は全く貧弱爲すなきに因るものなれば總督府に於ては今後大に普通教育の擴張を計り野に一人の不學者なきを期すべく而して一方官立普通學校の増設と共に私立學校に對しては其教育設備の完全せるものは大に補助獎勵すべし同時に各道郡に配與せられたる恩賜公債は此目的遂行上慎重なる注意を以て考究せられ最も有効に使用せしむべしと

朝鮮經濟協會

朝鮮經濟協會本月例會は來五日（日曜日）午後六時より京城ホテルに於て開催の筈にして當夜は三井物産重役波多野承五郎氏の講話あり是れに次いて會員は實業經濟等に付き各自意見を交換すと尚は會員外と雖も希望者は出席差支なしとなり

委員會の終了

汚物税廢止、戸別税等級修正京城民團民會委員會は一日の會議によりて終了を告げたるが其結果汚物税は原案の通り廢止に決し戸別税は原案の等級三十五等を三十七等に細別する事に修正を加へ地税は原案の儘として實施上參酌を爲す事となれりと

民會開期の變更

一日の夜を以て委員會終了せしを以て來四日民會本會議を開く筈なりしも都合により五日午後一時開會の事と變更せり

龍山商工業者大會

京城商業會議所の地區擴張の件に關し龍山の商工業者と交渉したる結果龍山の商工業者は二日午後六時より大集會を催されの結果を今三日會議所へ報告する筈なれば會議所は近日再び臨時總會を開きて地區擴張を實行すべしと云ふ

關釜連絡船不着

二日朝釜山に入港の筈なりし關釜連絡船は海上不穩の爲め入港せざるを以て二日夜當地

恩賜公債と授與式

京畿道第二回恩賜公債證書第二回授與式は去月廿八日にて終了せしが尚は二百餘名の授與漏れあり此中百餘名は住所不明の爲め目下取調中にして他は住所判明し居れど旅行若くは不在又は土地調査局に職を奉じ地方に出張中のものなれば是等に關しては更に不遠日を期して第三回授與式を舉行の筈なりと

府民會貯金獎勵

漢城府民會にては別項の議事決定後職工及び勞働者の貯金獎勵に就きて協議する處ありたるが光化門郵便局長播美氏俗の意見に依り郵便貯金の獎勵法を説き煙草會社の職工二百餘名を招ぎ此の趣旨を鼓吹し尚は進んでは同工場の職工二千名にも之れを獎勵せしむると同時に各方面の勞働者に漏れなく勸誘を爲すことに決定したるを以て其席に參列したる趙重應、趙秉澤、洪忠鉉等の諸氏は金若干を醵出し之れが獎勵資金として寄附したりと

勸業臨時費支出額

來る四月一日の新會計年度より朝鮮總督府勸業臨時費として支出さるべき金額は三十一万五千六百十八圓なるが其の細別は左の如し

一、	林業費	一九、二八二圓
二、	産業調査及獎勵費	二八五、〇三四
三、	苗圃費	六、七七九
四、	勸業模範場田地購入費	四、五二七

道路工事と計畫

內務部土木課にて目下各道に於ける道路改修工事本年度に入りてより計畫せるつゝあり北朝鮮咸鏡南北道の改修工事道路工事は殆んど八分通りの竣成を見つゝあり北朝鮮成鏡南北道の改修工事を除いては殆んど全部來る四月下旬乃至五月上旬を以て竣工に至る豫定なり而して朝鮮の道路工事は韓國政府當時より今日迄の間幾何の延長を既成し得たるかに就いて聞くに韓國政府當時に於ては時宜に應じて之れを行ひ今日の如く大規模の計畫を爲すことなかりしより比較的進行せざるが如く見ゆるも去る四十年より本年度、至る四ケ年の既成道路工事は二百十里の延長に達したりと尚は明年度の道路工事は豫算既成りて目下計畫中なりと

證明手續の不備

所有權確認に就て土地證明に關する現行手續は頗る不備の點多く之れが爲めに往々當事者間に行違を生じ或は奸黠の徒此間隙に乘じて他人の權利を蹂躙する等の不都合を醸出するの虞れあり現に其

當局者の失態

一例を示めせば阿比留某の所有權移轉に關し勸業會社と殖産會社との間に係爭中の競落問題の如き其一例なり該事件は當局者の失態として目下頻りに研究中に屬するを以て暫く茲に詳報するを避くるが其大要は勸農會社に對し阿比留某より或る土地家屋の質權設定を爲したるに登記に關らん該土地家屋は既に殖産會社小林貞好氏の申請により競落濟分濟たりしを發見し之が爲め兩會社とも不測の迷惑を被るに到れるものなり而して斯かる行違を生じたるは正に是れ阿比留某の奸黠手段に基因するものたるや疑なしと雖も一は又所有權確認に關して幷が

證明手續の不備

に歸せずんばあらず現行の手續を窺ふに朝鮮人間の證明は京城府に臺帳の設けありて何等不都合の點なきも事若し日鮮人兩者に亘る時は日本人に對する證明は居留民團備付の臺帳に査照し然る後京城府の證明を經るものとす然るに居留民團の備付せる臺帳は併合以前の調製に係かり其以後のものは總べて京城府の管理となり茲に

重複するが如き同一事件

を生せり一方又裁判所に於る登記の執行を見るに從來の慣行上其證明の京城府たると居留民團たるとを問はず何れも有効のものとして取扱ひ居る爲め倍々其手續を複雑せしむるを免かれず則ち

登記上唯一の根據たる權利擁護の曖昧模糊

べき證明手續の斯くの如きは權利擁護の上に就て大に注意を要すべき事たり而して民間に於て斯かる證明を爲すは元來法律の規定に基くものに非ずして謂はゞ領事館時代よりの習慣に依るものなれば此際

其統一を計り引繼ぐを當然とす

と云ふ因みに民團備付臺帳によれば土地家屋の繁數は千五百餘筆の多數を示めし居りれど

瓦斯電燈料値下交渉

京城日本人商業會議所にては過日臨時總會にて決議したる瓦斯、電燈料及附屬品料金の引下げ問題に付き二日同會社へ宛て今期總會に於て引下げ斷行され度旨の書面を發したり

●江木部長歡迎會　滿州各地を巡視中なりし拓殖局第二部長江木翼氏は既報の如く三日午後十時南大門驛着入京の筈なるが總督府各部長官以下高等官五十餘名は同氏の爲めに來る四日午後六時より翠樓に歡迎會を開く筈なり

內地人出入

朝鮮併合後內地人移住者の増加數に就き昨年九月（併合の翌月）より十二月に至る四ケ月間釜山港通過の內地人旅客を見るに

九月	出	二千四百三十三人
	入	三千四百六十八人
十月	出	三千三百八十八人
	入	四千二百二十六人
十一月	出	二千九百四十五人
	入	三千五百八十八人
十二月	出	三千四百五十五人
	入	三千〇四十一人

にして入鮮者の計は一萬四千三百十五人歸國者の計は一萬二千二百二十二人にして差引渡鮮者は僅に二千九十三人の少數者に過ぎず朝鮮の關門たる釜山に於て既に如斯き狀態なれば元山其他の各港より渡來するものは極めて少なく且つ又渡來者の內には朝鮮に留まらずして滿洲地方に趣くものあり結局渡鮮移住者の年に二萬の増加を見るは極めて困難なるべしと

釜山と手形交換

組合

釜山各銀行に於いては從來手形交換に關し多くの手數と時間を空費し爲めに取引上一大不便を感じをりしが今般各銀行申合せ韓國銀行內の一部を借受け本月初旬より手換交換を開始せらるべし尚其內容に就ては未だ審議中に屬すれば確定次第追て發表せらるべしと

●山根囑託の防疫講話　山根囑託は一日午後三時より仁川民團役所樓上にて鼠疫豫防の講話をなしたり

外國語學演習會

外國語學校にては來る三月四日午後二時より朝鮮語學演習會開催の筈にて朝野知名の士にそれぞれ案內狀を發せり

錦江の航路立標

朝鮮西岸全羅北道群山より江景に至る錦江航路並同道萬頃江及東津江の航路を示す爲め今回立標導標及量水標を建設せり

●農林校生徒募集　水原の總督府農林學校にては同校本科第一年級へ生徒四十名を募集す詳細は農商工部農務課或は同校に就て承合すべし

●東洋煙草の景品制限　東洋煙草會社韓國支店にては昨年十一月より煙草販賣に關し一等八百圓以下の景品を發行しつゝありしを三月一日より最高二十圓を超ゆ可らざる事に警務總監部より命令したり

●傳習所長の出張　總督府工業傳習所長伊藤緑三郎氏は廣島、大阪、名古屋東京の各地へ出張を命せられたり

●森安博士の滿州行　森安博士長谷川軍醫佐々木鐵道院囑托の一行は滿州ペスト視察の爲め二日午前九時南大門發長春に向ひたり

●林東拓理事の歸期　東上中の林東拓理事は來る十日頃歸任の筈なり

京龍兩驛の貨客

一日の分

▲南大門驛乘降客	乘車客 五一〇	下車客 五二三
▲南大門驛荷扱高	乘車賃金 一、四六八、七一	
一日の分	發送 三七噸	到着 三七三噸
	貨物賃金 五二七、九六	
▲龍山驛乘降客	乘車客 一二八	下車客 一四一
一日の分	乘車賃金 二三七、二八	
▲龍山驛荷扱高	發送 五一噸	到着 八八七噸
一日の分	貨物賃金 一二二、九一	

京城手形交換高

三月二日	金高	枚數
	一一九、七九三、二二	三七五

治外法權

脊髓の板挾みと其椅子の板挾とで逃出すことになつた有吉の辭職は愈確定したが彼れの後任者はマダ定まらぬソウだ▲世間小松外事局長を以て後任者に擬する者もあるが夫は外交官たる彼れに肥桶を擔げと云ふと同様であつて餘りに可哀相だ改正の大業に從事し、嫌ては其業を了へて男爵に有附んとして居る▲併し世の見よ彼れの同僚は今や公使として條約改正の大業に從事し、嫌ては其業を了へて男爵に有附んとして居る▲併し世は方便なもので小松にとつて迷惑な椅子でも或人にとつては名譽だ其膽據には其或人は亡母の忌中をも構はず東京に出で後釜覗ひの運動を始めた▲大隈伯が國民一般の讀物となるべき新日本と云ふ雜誌を發刊さるゝソウだ、前には國民讀本を發刊して一世を風靡した今亦た新雜誌を出して國民を指導せんとす、伯の勞や大なりと云つべしだ▲記者の信ずるところを以てすれば我元動政治家中眞に世界を了解し、眞に國民を了解し、眞に國家と世界との關係を了解し、眞に國家との關係を了解し居るものは伯一人であるのだ、此伯にして國民を指導す、其歸向の明かとなるや必然であるのだ▲有体に云へば今の日本國民は懷疑の念を以て滿されて居るのだ、其重税を負擔し、其生活に苦しむ、何の故たるを知らずに戰いて居るのだ、思想混亂、物資欠乏甚し今日より甚しきはないのだ、此時に當つて我國民を救はんとするものは須らく國內社會主義よりは國外社會主義を遂行すべしである のだ、國外社會主義とは云ふまでもなく我の貧乏と歐米の富とを平均させると云ふ事であるのだ▲恩賜公債買入と云つた韓國銀行は買つて與れぬ、夫れも其筈總督府が認可をせないからだすべからずは良いが、サテ額面で買ふ的を調べて居るソウだが餘計な事だ、世話もコウまでなると無用の干渉である のだ▲女裝癖の男內地にあり、彼れ曰く男と云ふ事を承知して嫁に貰ふて下さる人があれば末永く添遂げますと彼れの解釋に因る添遂げるとは一体ドンナ事か。

…八百八十五…入…比…四十三年二月に比すれば日方五 七萬六千八百十一圓六十八錢…が更に…貫六百八十三匁五分…同價格一萬九千 に一月中より時期して…は日方に八百四十七圓六十四錢の增加なりと云ふ

▲神戸 寄引 ▲京坂 同 ▲電鐵 同
三九、一〇〇 三九、二〇〇 六六、五〇〇 六六、五〇〇
三九、〇〇〇 三九、〇〇〇 六七、三〇〇 六八、〇〇〇

▲東京 同 ▲株新 同 ▲大坂 同 ▲株式 同
一五五、〇〇〇 一五五、〇〇〇 一三五、九〇〇 一三三、八〇〇
一六〇、〇〇〇 一六二、〇〇〇 一三五、五〇〇 一三三、三〇〇

▲南都丸 三日大阪より入港
▲小陽丸 同 大阪より入港
▲高砂丸 同 橫濱より入港
▲木浦丸 同 大阪向へ出港

▲佐藤恒太郎(…組合理事) 日本…
▲西村長太郎(…) 同釜山へ

▲大阪期米
●二日前場三月寄十五…▲五月寄…
寄六十五錢▲五月…
●一月後場三月出來不申▲四月寄十…

▲仁川米豆取引
…七十錢▲…七十八錢▲…止六十八錢 …最低六十七…

活動寫眞 (鏡面子)

二日 朝の南大門驛

曉昔の雪は止んで滿目白皚々、朝日は之れに反射して壯大の威を率く停車場は昨日に代つて寂寞、吹き來る風は薄寒く、暖爐の火も淡い

五十左右の老人、一個の古行李を抱て眠るが如く靜座する、三等待合室の一隅、生氣乏しく、大日本岡山市濱田町一番戶青木庄平と御家流の拙なき筆に記されたる木札が、人生の經歷を物語るかのやうに見ゆる

一等待合室には、山本旅館の藤井樣との紙片を結ひし雜多の小荷物、雜然としてペンチに橫たはる

一本二本の金線帽は、漸次に其數を增して室內頗る氣焰が高い併し官人なるもの、談話換言すれば生一本の役人生活を營み來りし人々の會話は皆同一臭味と狹小の範圍とに限られて廣き世上の向上趣味が無い、聞く耳立つる價値を有せざるは、甚だ遺憾に堪へない、と竊かに想つて靜かに獨り無我の鄕を夢みたのである

山根正次氏も、頓て姿を此中に現はした

『午前八時四十五分發釜山よりの夜行列車は約四十分延着の見込』との揭示を眺め、北行の人々、頻りに失望の顏を示す

いゝ、午前九時、釜山行の列車は、滊笛一聲靜かに、殘雪の郊原裡に長蛇の如く進み去つた

北行の客、柵內に充滿して、只到着の遲延を喞ちつゝ、暖爐の火は赤く燃へ立つ

四邊の禿峰諸山、白雪を掩ふて、恰かも銀色の冠を戴たる如く、松の梢に烏啼て、雪も白く地も白い、俗念俗腸、正に散じて消興湧、滊々淨々、予の筆、茲に擱、黃鳥を聞かばや旅の古草鞋

風流記者の風流

△家、女房、間違へる

名士の風流と題し京日紙上に揭載の光榮を荷へる方々は孰れも京城の御歷々のみにて嘸ぞや御滿悅至極の事と思ひしに出れば出るほど時間の恥を曝らし滑くらるゝより孰れも吃驚仰天顛んだ事を話したものと今更後悔して御座る

滑稽物語

橫樣なれば一番註に弱者の味方をして參らせ風流記者殿の滑稽物語を紹介しよう或る時某官人の招宴を忝ふして風流記者殿隨喜の淚を滴ばしながら淸華亭に參じ斯んな嬉しい事は無い何たる光榮の至りぞと鯨飲馬食した揚句の果て歸途に就き海鼠のやうにグタ〳〵然と呂律も廻はらぬ口で詩や歌を謳ひながら永樂町に出で夫れから一二丁も步行くと記者殿の姿は消ねて失くなつたハテなと見れば某の家を敲き起して座敷の眞中に大胡座をかきコラ早く着替を出さんか何を悶圖突いて居るかと怒鳴り飛ばす其劍幕隣り近所も之が爲めに長夜の夢を破らるゝ程であつた處が其家の主人は折柄旅行中で細君一人留守居の貞操を守つて居りし矢先を突然見た事もない人に舞ひ込まれたので一時は驚きもし呆れもしたが女一人侮つての此の振舞と思ひなしてかクワッとなり何處の方かは知らざれど漫だりに他人の深窓を犯かすは不埒ではありませんかと突つ込む途端に記者殿と顏見合はすれば漸く眼が覺めたと見ねア、是れは〳〵頓だ失禮致しました實は拙者元此家に住んで居つた爲め遂ひ間違ひました何卒お恕から是非內分にと平身低頭して其罪を謝し大和町の方面指して歸つて往つてのであつた

直に當つた女房の罰 穴

此處は龍山新市街に住む鐵道工夫の木下某目下最愛の山の神れ產の紐を解て獨寢の詫びしきに倚々浮世を感ずれば時は春なり猫さへ戀に狂ふて月に啼く兒して人體として忙然空閨を守るの戀あらんやこ一日の夜一杯機嫌の千鳥足折角同聯より贈られし祝ひ金餓鬼の着物なぞ豈夫れ不用骨損先づ此の金さへあらば早速驅け込んだるは相恥しいが同地東門外契九統九戶のカルボ屋座に侍らせし別嬪は金姓女(三五)揚代金は大枚六十錢兩手に足らぬ端た金能い夢見ぬ、遺堆なり御用を遂した某はいざや立たんと財布を見ればこれはしたり三圓餘の金は何日しか姿を隱したるに醉が醒めて見れば公然沙汰に取上ぐるは恥の上塗と人間らしく先づ胸を撫りて引下る袂を執へ難癖付けた惡趣返し反對に告訴せしより終に警察署にと引立てられぬ夢見た顏の工夫さん散々取調の上事實はカルボの惡策なりと分つて見れば折角紳口の策も破れて鳴左衞門に頓首百拜問は千拜始めて阿呆の夢が醒めました

●俳優三桝大舍の無情

原籍廣島市宇品町御幸通り六丁目百七十一番地當時龍山佐久良座興行中の俳優三桝大舍事中島豐吉(四八)は去る四十三年四月より故鄕に親愛なる妻子を殘し朝鮮各地を巡業し居る者なるが妻コフジは明暮四人の小兒が生長をのみ樂しみ獨り空閨を守りて淋敷き生計を遣りつゝあるにも不拘無情にも夫豐吉は今日まで一厘の送金さへなさざる爲纖弱き女一人の細腕にて四人の子供が養育に可憐にも糊口に窮し數十圓の借財迄なすの止むなき悲境に立至りしかばコフジは夫豐吉の無情を憤り龍山憲兵隊に說諭方願ひ出でたりとは妻コフジが心中こそ誠に憐なり

◎ひゝな 秀峯

雪洞や雛の雅兒の拂縮緬
新雛宵を榮へたる都かな
相對す雛に戀のなかりけり
雛の灯の數ぞ京の夜は更ぬ
相語たる狹斜の雛の唯艶に

何語る雛に向ふて稚な見よ
古雛の由緒語るや貧の家
不濁

雛棚や熙々たる春を誇り貌
桃未だ雛に堅きつぼみかな
雛に對し亡き母偲ぶ夜を綫み
金屛や桃のかげひく雛の灯
紫生

●仁川外港の難破船

去る一日正午十二時頃仁川港に入港すべき帆船黃海道延安郡瓢山島高允鄉所有にて船員は同鳳山郡丹鑄里金化順(二八)船主の長男島祿山(三)延安郡瓢山島徐山祿(十九)同梁京日(ヨ九)の四名に

●既往四月の變死者 京

城府の警務に屬するものにして昨年十一月一日より去る二月二十五日までの間に於ける變死者總計三十六名ある由なるが內內地人男九名女二名にして其他は全部朝鮮人なりと而して內地人の多數は自殺者多く朝鮮人は泥醉の結果或は氷上を渡涉中過つて死したるもの多きが其內譯を示せば左の如し

△モルヒ中毒死二名(內地人)△縊死四人(內地人)△溺死三名瓦斯窒死二△背性會遂二人△剃刀自殺一人△其他過失死亡△腦溢血一人(露人)△自殺未遂六人

●自分で自身を火葬

廣州郡都尺面老谷八統一戶延永俊妻朴(四二)は去る二十二日利川郡沙里面の叔父宅に赴かんとて自宅を出發し途次多量の酒を飲みて泥醉し陽智郡朱東面の路傍にて焚火し温を取り居たるが遽かに持病の癲癇起りて己れの焚きし火中に倒れて燒死せりと

●不幸福の家族

大坂市東區東平野町當地仁川宮町二丁目住藤田竹松(四五)は昨秋來より心臟病に罹り何の職業も出來ぬより生計に困難を生し家族四人をも餓死せんとするの有樣なるより歸國の保護方を仁川民團に願出でしより民團にては私立仁川慈惠會より旅費を支給し今二日仁川發大坂行の木浦丸にて歸國せしめたり

●怪しき鮮人

去る廿八日午前八時頃仁川京町二丁目質商古島丹次方に年頃廿四五の鮮人來り價格十八圓位の懷中時計を外套に卷き込み入質せんとする擧動何となく不審の點あれば是れを謝絕し一方京町派出所に申告せしかば詰合の巡査出張取調べたるも最早や立去り後であつたとは殘念至極

●惡戲に軒燈を外す

去る廿八日午後十二時久木田病院附近にて只ならぬ大聲立つるものあるより何事ならんと驅付けたる處京町二丁目料理店井上權太郞が鮮人と格鬪中なるに付派出所に引致取調べたに所謂記井上方の軒燈を竊取せし樣申立つるに右鮮人に付き調べたる所右軒燈は道路に放棄ありしより持ち歸らんとせしと言つて右鮮人は上方に薄舁せた事ありため一時の惡戲に出たる事を陳述其の言語擧動別に不審の點なければ不心得を諭し放還せり

●自轉車泥棒

龍山柳町一丁目二十六番戶堀內松太郞方大坂府生れ鈴木竹三郞(十六)は二月二十八日午前九時頃龍山元町玉井自轉車屋に行き稽古用にて自轉車を借り之を京城旭町一丁目古道具屋に賣却及本月一日瀧川自轉車店に至り自分は本町二丁目鈴木吳服店員なりと詐稱し自轉車を借り南大門外にて賣却せんとせしを逮れ南部署にて取調中

●毆打

龍山漢江通り三丁目七十二番戶中松豐(三四)長副愛朔(二六)の二名は何れも電氣會社職工なりしが二月二十五日大平町一丁目九十四番戶の五居住電氣會社員淺野鐵吉方に至り口論の末兩人にて鐵吉を毆打し輕傷を負はせ北部署に告訴され嚴重將來を訓戒し放免

●賭博

林能三郞(三一)豐田猛雄(三九)片山七三郞(三九)の三名は賭博の現場を南部署に檢擧され取調中

●仁川藥兒養女と決る

去る廿六日仁川共岡火葬場の藥兒は岡町の河原雷門の養女となす事に決しはる子と命名したりと親が聞いたら喜ぶべし

三面都々逸 浮世亭美坊

人の血を吸ひ飽きたらず爆發彈まで食ふめかけ
金殼り指輪や懸張り質や六りに七入れ八をかく
青い闇はすいーと言はれ色つきや裸体となる蜜柑

●演藝だより

●京城座 三日節句の藝題は新比翼塚吉原心中全八幕にて道具背景等全部差替ゑたりと云ふ重なる配役は土屋政濟(岩村)幇間蝶二(花房)花魁せい糸(堀江)谷豐三(谷)新造れ松(塚本)山ノ井雅三(松澤)妓夫信公(吉井)大地震泉)女房たか(東)田町の隱居(江見)

●壽座 三日の藝題は戀夫憐全五場にて重なる役割左の如し 一逵の妻まさ子(郡藤島)召使れたま(淺井)一逵(花島)小泉修三(稻葉)中野洞助(青山)召使れきく(花浦)召使れてま(つゝみ)醫者最上(村山)

●歌舞伎座 三日の代狂言は鍋島猫騷動にして重なる役割左の如し 鍋島肥前守高木三平(正三郎)小森半之丞(福司)小夜之方(消吉)れ豐の方後に怪猫(小森)母親實は怪猫(尾之吉)源六郞(釜十郎)左官屋吉雲助萬年の龜(花笑)龍藏寺父七郞小森半左衞門(鶴一郞)

●艶子の獨立

彼の梅若にて有名なりし花月の藝妓艶子は二月一日芽出度年期滿ちて廢業したりしが雀百迄踊りを忘れずの比喩自分でも堅氣になる氣も出ず又堅氣にして遣らうと云ふ程の切な人もないのか三月一日から南山町三丁目の當家玉家の看板を讓り受け丸の艶子と名乘つて出でたるが此れは何んでもかんでも手當り次第『知るも知らぬも逢ふ坂の艶の戶さゝぬ』と云ふ心なりとか

●寒蒔種子の無代配布

岡山縣邑久郡長船殿事試驗場にては輸出煙草種子として切手十錢を送れば例年の通り實驗上有益の種苗及西洋新草花二十種を何人にも無代配布する旨同場より通知あり

雪の夜の本町通り

一日の夜九時降りしきる雪を踏んで立ち出づ、三越吳服店と、百福號との店頭に飾られたりと云ふ雛を見んとてなり。長谷川町軍司令官邸前に差し蒐る、雪に立つ衞士が凍たるを眼に其の寒からんを想ふ、雪は銃尖の劍鐵に注ぎ爲めに珊々の響きあり、眉前の高樓燈火煌々として爐邊の熱かるべきを思はしむ、胸に衞士の勤勞を謝して娼婦メリーが宿の前を過る、職人体の男三人、硝子戶の一二三絞り上げたるカーテンの間に顏差し付けて『開けろ〳〵』と叫んで居る『貴樣貨幣あることないかア〜』と罵り返して面白想なり、本町一丁目に入らんとして牛肉店安德の姐上に堆く置かれたる肉片の南天の果の紅なるが如くなるが降り積む雪に照り映へて美しと見て本町大通りに出づ往き來う人の影も疎らに商家の燈火徒らに炳けきぞ憂き

春宵の一刻千金の趣味豈に溫突のポカ〳〵たゞ裡のみ存せんやだ淋しからぬ程の閑な春の雪、鳥居醫學店に一人の客あり、技手の一人框に腰かけて自ら其の髯を剃るを見る、江頭眼科醫院を出でし女の白き布に蔽ひし眼を押へた腕の眞白きに燃ゆるか如き紅の縮袢の袖の搦みたるが又なく媚かしく見られた。

目的の三越吳服店では既に店を閉して陳列棚に並びませる、雛樣も五人囃子も力なく豊東なげの電燈の下に衣裳のみ美々しう立つ、全体に小さいので何んだか物足らぬ心地がした、モウ大抵大きいのは賣れて終つたのだらう、而して夫れに正札が附いて居る、買うには便利だらうが何んだか殺風景に感じられた、が併し其の正札を放れて、否、放して見るが優美なものだ、百福號のも見たが憾みは同じだ。

雪はます〳〵降る、斷續して人力車が丑寄東へ飛ぶ。本町六丁目から三丁目迄戾り掛つた時來た人力車の上から『早く行つて異れ』『待つて居るんだから』が此れを聞いかば僕は急に寒さを覺へたので歸宅すべく明治町へ折れて浪花館の前へ出る初午と云ふので大層家內が賑はつて居た。(ひら)

運勢

●三月三日 舊二月三日 六白 壬 ●●●

申 佛滅 破 △一白● 起業開店婚談に忌む其他の行事進んで吉知友親戚の事煩累あり △二黑● 婚談養子合同連盟協商示談に吉色情癡情の破れを戒しむ △三碧● 新事旅行見合せの事金品授受不動産の事故障あらん負傷遺失の恐れあり △四綠● 不如意多き日命談旅行婚談起業開店凶盜難遺失愼むべし △五黃● 破綻、日合同結社婚談中裁訂約協商、忌む其他平和の日とす △六白● 新事旅行婚談金談貸借効無し組合委託連帶裏書保證の行爲を愼ず △七赤● 中傷不和葛藤を起し易し新事旅行見合せの事 △八白● 交際取引計算上不平不服を生じ易し新事旅行移轉婚談見合せの事 △九紫● 部下家族の事煩累あり又機密計劃を誤る事あり新事旅行婚談貸借交涉談共に無効無し